

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	社会体育施設管理事業			
予算科目	10 款 6 項 2 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ スポーツ・レクリエーションの振興			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	田中 敬文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	社会体育施設			
根拠法令等	スポーツ基本法、社会教育法、教育基本法			
事業の目的	スポーツを振興し、もって市民の心身の健全な発達に寄与するため、社会体育施設を適切に維持管理・運営し、社会体育活動拠点施設を確保することを目的とする。			
事業の内容	社会体育施設の維持・修繕			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	施設によって利用頻度の差があるとともに、夜間の使用が多いため、説明会等で周知を行って調整を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	5,944	8,417	1,153	4,794
	人件費	1,057	1,193	556	1,193
	合計	0	9,610	1,709	5,987
人件費 内訳	人工数	0.13	0.15	0.07	0.15
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,057	1,193	556	1,193
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	779	810	199	659
	一般財源	6,222	8,800	1,510	5,328

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
夜間照明使用状況	回	1993	1300	660	1686

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,897	4,800	4,800	4,800	4,800	24,097

成果指標				
成果指標	設備の点検、充実整備			
指標設定の考え方	市民のニーズに即した安全で快適なコミュニティスポーツづくりの場の提供			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1300	1300	1300	0
実績	1993	1686	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>体育施設の耐震診断の結果を受け、利用者の安全性の確保・利便性の向上のため、長沢体育館の耐震補強工事の実施設計を行った。(平成27年6月末まで繰越し)教育施設改修のための代替施設として利用されるため、耐震補強工事は平成28年度の実施となるが、できるだけ早期の完了を図りたい。耐震補強が必要と判断された永木体育館についても、利用状況や地域住民の要望等を勘案しながら、施設の存続の有無など早期に方針を決定する必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>安全で快適な生涯スポーツの場の提供を行っている。今後も社会の諸情勢を勘案しながら提供を行っていく必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題